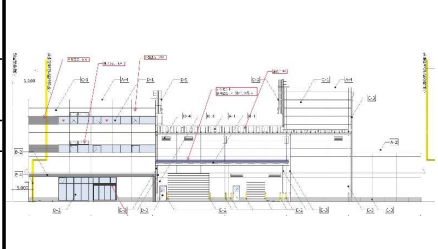


# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特殊電極株式会社 本社・工場移転	階数	地上3F
建設地	兵庫県加古川市	構造	S造
用途地域	工業地域、第22条地域	平均居住人員	69 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年7月24日
敷地面積	6,783 m <sup>2</sup>	作成者	佐藤 和人
建築面積	3,574 m <sup>2</sup>	確認日	2022年7月27日
延床面積	6,795 m <sup>2</sup>	確認者	笠原 恒孝



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 88%  
③上記+②以外の 87%  
④上記+ 87%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	植栽計画や建物配置、意匠性において周辺環境・景観に配慮した計画とし、工場としての機能性を確保し、従業員の快適性にも寄与する環境づくりを取り入れている。	その他 0
<b>Q1 室内環境</b>	ゾーン毎に空調設定を行い、内部環境を最適化している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地周縁部に植栽を配置しつつ、近隣住戸に配慮した全体配置としている。敷地段差により調和する外装デザイン、ボリューム計画とし、近隣に圧迫感を与えない計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b>	必要最小限の開口部計画として、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。 外壁にはALCを採用し、外部熱負荷を低減している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 緑地を外周部に設けつつ、近隣への配慮、ならびに駐輪場や駐車場を十分に確保し、敷地周辺への交通負荷抑制に寄与する計画としている。
<b>Q2 サービス性能</b>	工場機能に必要な階高さと天井高さを最大限確保し、更新性の高い開放的な環境としている。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	汚染物質含有材料の使用を極力抑えている。鉄骨造のため、躯体と仕上げ材・設備は明快に解体できる。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される